

平成28年度

一関地球温暖化対策地域協議会

総 会

日時 平成28年5月15日（日）

13時30分～14時30分

場所 一関文化センター 小ホール

一関地球温暖化対策地域協議会

一 総会次第 一

1. 開会

2. あいさつ

3. 来賓祝辞

4. 議事

報告第1号 平成27年度事業報告について…………… 2

認定第1号 平成27年度収支決算について …………… 8

監査報告 …………… 9

議案第1号 平成28年度事業計画（案）について …………… 10

議案第2号 平成28年度収支予算（案）について …………… 12

一関地球温暖化対策地域協議会会則 …………… 13

5. その他

6. 閉会

報告第1号 平成27年度事業報告について

会則第11条第2項に基づき平成27年度事業について次のとおり報告する。

平成28年5月15日提出

一関地球温暖化対策地域協議会
会長 千田 恭平

昨年12月にCOP21（国連気候変動枠組条約第21回締約国会議）が開催され、京都議定書以来の歴史的合意「パリ協定」が採択されました。産業革命以降の世界の気温上昇を2℃未満に抑制すること、そのために今世紀後半温室効果ガスの排出量を実質ゼロとすることが取り決められました。それは人類にとっての大目標で、達成までの永い道のりが続きますが、地域に暮らす私たちも極めて微力ながらその一部を担おうと活動を続けてきました。

1 地球温暖化対策の学習・教育活動の推進

(1) 環境セミナーの開催

薪など地域の資源を活用することが、エネルギーの地産地消・地球温暖化防止になるなどの内容で講演会を開催しました。

- 日時 平成27年5月16日（土）総会終了後～17：00
- 場所 一関市民センター大会議室（なのはなプラザ）
- 講演 「一関の自然資源を生かす
まちづくり・人づくり」
講師：一関ナチュラルリストグループ代表
千田 典文 氏

○参加者 35人



(2) 地球温暖化に関する出前講座

川崎町女性協議会 総会後に開催しました。

- 日時 平成28年4月17日（日）
- 場所 川崎市民センター研修室
- 内容 「家庭でできる省エネ・創エネ
～正味ゼロエネルギーを目指して～」
- 担当 徳谷副会長、佐々木事務局長
- 参加者 約40人



(3) 地球温暖化に関する広報ecoの発行

「できることから実行する」という意識の醸成を図るため、広報編集委員会を開催し市内全世帯に広報ecoを2回発行しました。

【第19号】H27.9.15発行

- 紫波町の「循環型まちづくり」
(7月2日編集委員4名で、紫波町を訪ね取材)
- 半分手作りで省エネ住宅の建設に挑戦する
- 総会・講演会の報告
- 環境への取組み紹介「㈱一関LIXIL製作所」



【第20号】H28.3.15発行

- 歴史的合意の「パリ協定」
- 地球温暖化防止のための具体策を！
- 手軽でクリーン ペレットで暖かく！
- シリーズエコ技 電気代が見えるエコキーパー！
- 環境への取組み紹介「㈱日ピス岩手」



2 会員相互の情報交換、発信

(1) 省エネ住宅に関する見学会&学習会の開催

- 日時 平成27年8月29日(土) 13:00~16:30
- 場所 「旧達古袋小学校」「厳美市民センター」ほか
- 内容 「半分手造りで挑戦する省エネ住宅」「なかなか遺産第一号旧達古袋小学校」を見学し、省エネ住宅等に関する講演を聞くことで理解を深めました。
- 参加者 21名



(2) 会報の発行

会員相互の情報交換を行うことを目的に、IEL会報を3回発行しました。

【第14号：8/17発行】

【第15号：12/17発行】

【第16号：4/22発行】



3 地域で実践できる協働事業の実施

(1) 省エネ・創エネキャラバン隊 I N 東山開催

「太陽光発電」・「マイクロ水力発電」・「省エネ住宅」について東山地域内の皆さんと話し合いました。

- ・ 日 時 平成27年11月 8日（日）13：30～16：30
- ・ 場 所 東山地域交流センター第1研修室
- ・ 参加20名
- ・ 内 容

- ①「遊休地利用手造り市民発電所」
一関市民パワー発電所事業化検討地域協議会
菅原 佐喜雄 氏
- ②「固定価格買取制度とメガソーラー」
㈱エプセル/リニューアブル・ジャパン㈱
- ③「進化し続けるマイクロ水力発電」
田河津「いつでも蛍の会」 事務長 前田眞氏
- ④「『改正省エネ基準』と今後の住宅」
市建設部都市整備課建築指導係
- ⑤「地中熱による住宅の省エネ化」
(有)丸巳建設
- ⑥「省エネ住宅で期待される窓やドアの性能」
㈱一関L I X I L 製作所



(2) 自然エネルギー等見学会の開催

循環型まちづくりの先進地である紫波町を訪ね、自然エネルギーを活用した施設及び省エネ住宅を実際に見て体験することにより、自然エネルギーへの理解を深めその普及を促進するため見学会を開催しました。

日 時 平成27年10月27日（火）8：00～17：00 参加者 25名

見学場所

ラ・フランス温泉館のチップボイラーと太陽熱温水器



紫波町農林公社木質チップ工場



オガールエリア エネルギーステーションと紫波中央駅のペレットストーブ



(3) うちエコ診断の開催

家庭のエネルギー消費量の推計を診断員が診断。各家庭に省エネの提案を行う「うちエコ診断」を2回実施しました。

- 日時 平成27年12月8日(火) 平成28年2月10日(水)
- 場所 一関市役所本庁舎 一関市役所本庁舎
- 参加 3名 1名

4 その他協議会の目的達成のために有効な諸活動

(1) 協議会ブースの設置による住民への周知

いちのせき市民フェスタにおいて、「計算し考えよう家庭のCO2」と題し、パネル展示とクイズを開催しました。

- 日時 平成27年8月23日(日)
- 場所 なのはなプラザ 3階 ○来場者 約60名
- 内容 展示したパネルを来場者に解説してクイズに答えてもらい景品をプレゼントしました。



(2) 「一関市への施策提言」に向けた取り組み

温暖化対策を進めるには市民レベルの活動と共に、行政が組織を挙げて取り組むことで実効ある温室効果ガスの排出削減が期待されます。また、紫波町を訪ねた見学会の参加者から「見学してどうするんです？」との問いかけもあり、昨年末から年始にかけて施策提言のための意見を募集したところ43名の市民の皆さんから多方面にわたる意見が提出されました。

それを受けて、意見提出者などを中心にワークショップを開催し、提言作成に向け取り組みを進めています。

- ワークショップ開催日時 平成28年3月6日(日) 13:30~16:30
- 開催場所 一関市民センター大会議室(なのはなプラザ)
- 参加者 24名

4グループに分かれ、各グループが各々3分野に関して話し合い、結果を発表しました。

その後第5回役員会で協議し、「施策提言骨子案」としてまとめ、会員や意見提出者に配布しました。



(3) 図書の寄贈

市内8地域の図書館に以下の図書を寄贈し、一関図書館にて贈呈しました。

- 寄贈日 平成28年3月23日(水)
- 寄贈図書
 - ・「異常気象と気候変動についてわかっていること知らないこと」(ベレ出版)
梶川義幸/高谷康太郎/堀正岳/竹村俊彦/竹下秀(著)
- 贈呈者 千田恭平会長、菅原寿運営委員



(4) その他

11月21, 22日にe c o検定受験講習会の開催を準備しましたが、受講予定者が極めて少なく、中止しました。

認定第1号 平成27年度収支決算について

会則第11条第2項に基づき平成27年度収支決算について次のとおり認定に付する。

平成28年5月15日提出

一関地球温暖化対策地域協議会
会長 千田 恭平

平成27年度収支決算

収入の部

(単位：円)

項目	予算額	決算額	比較	説明
会費	117,500	119,500	2,000	個人会員(延89名) 44,500 企業・団体会員(15社・団体) 75,000
補助金	851,000	851,000	0	一関市 851,000
雑収入	566	78	△488	預金利子 78
繰越金	186,934	186,934	0	繰越金 186,934
合計	1,156,000	1,157,512	1,512	

支出の部

(単位：円)

項目	予算額	決算額	比較	説明
報償費	120,000	30,000	△90,000	環境セミナー講師謝礼 20,000 学習会講師謝礼 10,000
旅費	70,000	37,620	△32,380	紫波町視察者日当 4,000 役員会議等出席費用弁償 33,620
需用費	800,000	764,771	△35,229	広報eco印刷費 690,512 自然エネルギー見学会視察料など 6,160 市民フェスタ景品等 18,676 省エネ創エネキャラバン隊協力費 3,000 Eco検定テキスト(7冊) 19,656 施策提言ワークショップ(紙代等) 12,079 寄贈用図書 14,688
役務費	1,000	1,740	740	振込手数料(広報eco印刷費2回分) 1,188 会費納入用払込取扱票印刷手数料 552
使用料	5,000	15,340	10,340	高速道路使用料 15,340
負担金	0	0	0	0
予備費	160,000	4,000	△156,000	総会懇親会講師会費 4,000
合計	1,156,000	853,471	△302,529	

収入済額 1,157,512円 - 支出済額 853,471円 = 304,041円


は翌年度に繰り越すものとする。


監査報告

平成27年度収支決算について、平成28年4月14日に監査を行った結果、正当かつ正確であることを認める。

平成28年5月15日

一関地球温暖化対策地域協議会

監事 藤江元 

監事 薄井信次 

議案第1号 平成28年度事業計画（案）について

会則第11条第2項に基づき平成27年度事業計画を次のとおり定める。

平成28年5月15日提出

一関地球温暖化対策地域協議会
会長 千田 恭平

一関地球温暖化対策地域協議会 平成28年度事業計画（案）

昨年9月には関東・東北豪雨に見舞われ、鬼怒川の氾濫により茨城県常総市が水没、宮城県大崎市の一部でも中小河川が氾濫し被害が発生しました。同じ場所に強い雨が継続して降るなど雨の降り方が変わり、観測史上第一位があっさり更新されています。

2014年は地球全体の平均気温が過去最高でしたが、2015年はそれを上回ることで0.15℃と大幅に上昇しました。海面水温の上昇も続き、大気中のCO₂濃度もついに400ppmを超えるようになりました。そして、今や世界中で地球温暖化を直接・間接の原因とする災害に遭遇せざるを得なくなっています。

地球温暖化への対応は全人類共通の課題であり、昨年未開催されたCOP21（第21回国連気候変動枠組条約締約国会議）では「1.5℃未満」をも努力目標に掲げ、196の国・地域が参加した「パリ協定」が採択されました。各国は自主的削減目標を定め国連に提出し、更により高い目標設定に向け5年毎の見直しが義務付けられています。

日本政府も2030年までに、2013年比温室効果ガス26%削減を目標として提出しました。家庭部門や業務部門を中心に削減を強化するよう議論を進められています。また、「岩手県地球温暖化対策実行計画【改訂版】（平成28年3月）」では2020年度の温室効果ガス排出量を1990年比25%削減すること目指していて、具体策が打ち出されていきます。

地域で暮らす私たちは増大する気象災害の影響を軽減する種々の策を講じると共に、各々が強くしなやかな地域社会を形成していくことが大切です、その基本は衣食住やエネルギーなどを自ら生産し、自給率を高め自立への道を目指すことです。この道は広大で恵み豊かな土地を抱える地方こそが歩むことができる道で、しかも温室効果ガスの排出を大幅に削減する可能性を秘めています。こうしたことを基本に据え、以下の活動に取り組みます。

- 1 地球温暖化対策の学習・教育活動の推進
- 2 岩手県地球温暖化対策推進計画の普及啓発活動
- 3 会員相互の情報交換、発信
- 4 地域で実践できる協働事業の計画・実施
- 5 その他協議会の目的達成のために有効な諸活動

具体的な活動案

- 1) 環境セミナー・講演会の開催
- 2) 省エネ・創エネキャラバン隊の「総集編」の開催（全市民を対象に川崎地域で）
- 3) 自然エネルギー等見学会
- 4) 市民フェスタで当協議会ブースの設置
- 5) 広報ecoの発行（年2回）
- 6) 県や市への施策提言（7月をめどに市へ提言）
- 7) 「低炭素なまちづくり」に関する調査研究
- 8) 適切な交通機関・網に関する調査研究
- 9) 太陽熱温水器、住宅用蓄電池に関する情報収集と普及に向けた準備
- 10) 出前講座の開催
- 11) 地域主導による自然エネルギー事業化支援
- 12) 他団体との協働や支援
- 13) 会報の発行（随時）
- 14) 図書の寄贈

議案第2号 平成28年度収支予算（案）について

会則第11条第2項に基づき平成27年度収支予算を次のとおり定める。

平成28年5月15日提出

一関地球温暖化対策地域協議会
会長 千田 恭平

平成28年度収支予算

収入の部

(単位:円)

項目	予算額	前年度予算額	比較	説明
会費	117,500	117,500	0	個人会員(75人) 37,500 企業会員(16社・団体) 80,000
補助金	851,000	851,000	0	市補助金
雑収入	459	566	△107	預金利子等
繰越金	304,041	186,934	117,107	前年度繰越金
合計	1,273,000	1,156,000	117,000	

支出の部

(単位:円)

項目	予算額	前年度予算額	比較	説明
報償費	120,000	120,000	0	講師謝礼等 120,000
旅費	70,000	70,000	0	講師旅費 35,000 役員会議出席旅費 35,000
需用費	800,000	800,000	0	消耗品費 44,000 広報印刷費 731,000 学習会等お茶代等 5,000 図書購入費 20,000
役務費	2,000	1,000	1,000	振込手数料等 2,000
使用料	10,000	5,000	5,000	会場使用料等 10,000
負担金	0	0	0	
予備費	271,000	160,000	111,000	
合計	1,273,000	1,156,000	117,000	

※項目間の流用は、役員会に一任する。

一関地球温暖化対策地域協議会会則

(名 称)

第1条 本会は一関地球温暖化対策地域協議会（略称 I E L）と称する。（以下「協議会」という。）

(目 的)

第2条 協議会は住民、事業者、行政が地域レベルで連携し協力しながら、健全で恵み豊かな地球環境の「保全と創造」を基本理念に具体的な地球温暖化防止活動について、各主体が適切な役割を担い、自主的かつ積極的に継続して環境対策に取り組むことを目的とする。

(活 動)

第3条 協議会は次に掲げる活動を行う。

- (1) 地球温暖化対策の学習・教育活動の推進
- (2) 岩手県地球温暖化対策推進計画の普及啓発活動
- (3) 会員相互の情報交換、発信
- (4) 地域で実践できる協働事業の計画・実施
- (5) その他協議会の目的達成のために有効な諸活動

(組 織)

第4条 協議会は第2条に定めた目的に賛同する個人、法人、団体等（以下「会員」という。）をもって構成する。

(入会)

第5条 協議会に入会しようとする者は、別に定める入会申込書を会長に提出する。

2 協議会は、前項の入会申し込みがあった場合には、正当な理由なくこれを拒んではならない。

(退会)

第6条 会員が次の各号の一に該当する場合には退会したものとする。

- (1) 会員から別に定める退会届が会長に提出されたとき。
- (2) 正当な理由なく第12条に規定する会費を1年以上納入しないとき。
- (3) 会員が死亡又は解散したとき。

(役 員)

第7条 協議会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 若干名
- (3) 監事 2名
- (4) 運営委員
- (5) 事務局長 1名

2 協議会に顧問を置くことができる。顧問は会長の諮問に応え会議に出席し意見を述べることができる。

(役員を選出及び任期)

第8条 会長及び監事は、会員の互選により総会において選出する。

- 2 副会長及び事務局長は、会長の指名によって総会の承認を得て選出する。
- 3 運営委員は会長が指名する。
- 4 役員任期は2年とする。但し、再任を妨げない。
- 5 補欠役員任期は前任者の残任期間とする。

(役員職務)

第9条 会長は協議会を代表し、会務を総括する。

- 2 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはこれを代行する。
- 3 監事は、会計の監査を行う。
- 4 役員は役員会議に出席し、第3条に定めた活動について協議する。
- 5 事務局長は協議会の日常業務を統括処理する。

(役員報酬)

第10条 役員は無報酬とする。

(会議)

第11条 会議は総会と役員会議とする。

- 2 総会は年1回及び必要に応じ、会長が召集し、会則の改廃及び役員選任、事業報告及び収支決算報告の承認、事業計画及び収支予算の承認、活動計画等について決定する。
- 3 役員会議は必要に応じ随時開催し、第3条に定めた活動について協議する。
- 4 会議の議長は会長が務める。
- 5 必要に応じ、専門委員会を置くことができる

(経費)

第12条 協議会に必要な経費は、会費、負担金、支援金及びその他の収入をもってこれに充てる。

ただし、会費にあつては次に掲げる額とする。

- (1) 個人会員 年会費 500円
 - (2) 企業、団体（非営利団体と認められる団体を除く。）会員 年会費一口 5,000円
- (会計年度)

第13条 協議会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(事務局)

第14条 協議会の事務を処理するため、事務局を置き、事務局長のほか職員を置くことができる。

- 2 事務局は当面一関市市民環境部生活環境課内に置く。

(委任)

第15条 この会則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は別に定める。

附則

この会則は平成19年3月22日から施行する

附則（平成19年10月9日改正）

この会則は、平成19年10月9日から施行する
附則（平成22年5月16日改正）
この会則は、平成22年5月16日から施行する

一関地球温暖化対策地域協議会 役員名簿

(平成28年5月1日現在)

	役員名	氏 名	個人・団体	団体推薦の場合 (法人・団体名)
1	会 長	千 田 恭 平	団体推薦	弓手川結いネットワーク
2	副 会 長	徳 谷 喜 久 子	個 人	
3	副 会 長	菅 原 佐 喜 雄	個 人	
4	事務局長	佐々木勝裕	個 人	
5	事務局次長	佐 藤 敏 朗	個 人	
6	監 事	藤 江 元	団体推薦	NPO 法人北上川サポート協会
7	監 事	薄 井 信 次	個 人	
8	運営委員	※ 人 選 中	団体推薦	一関商工会議所
9	運営委員	岩 淵 正 義	団体推薦	NPO 法人 北上川サポート協会
10	運営委員	柴 田 勝 久	団体推薦	一関工業高等専門学校
11	運営委員	千 葉 勝 彦	団体推薦	(有)大東交通サービス
12	運営委員	小 野 仁 志	団体推薦	いちのせき市民活動促進会議 インアーチ
13	運営委員	槻 山 千 恵	個 人	
14	運営委員	菅 原 寿	個 人	
15	運営委員	鈴 木 智 道	個 人	
16	運営委員	鈴 木 嘉 子	個 人	
17	運営委員	菊 地 清 志	個 人	

一関地球温暖化対策地域協議会 個人会員名簿

(平成28年5月1日現在)

No.	氏名	地域	No.	氏名	地域
1	千田 恭平	千厩	44	菊田 哲	盛岡市
2	千葉 光雄	山目	45	高田 一郎	真滝
3	山下 政治	真滝	46	小山 隆春	盛岡市
4	菅原 英雄	真滝	47	菊地 善孝	大東
5	大友 孝夫	一関	48	石山 健	花泉
6	佐藤 敏朗	山目	49	岡田 もとみ	真滝
7	千葉 胤雄	真滝	50	前田 真	東山
8	佐々木 勝裕	花泉	51	酒井 栄	奥州市
9	神崎 浩之	山目	52	佐々木 朋和	東山
10	飯村 昌弘	市職員	53	千葉 精一	巖美
11	大野 恒	真滝	54	千葉 登	一関
12	藤野 秋男	千厩	55	鈴木 嘉子	山目
13	菅原 佐喜雄	千厩	56	上野 洋子	室根
14	菅原 稔	市職員	57	熊谷 亨	巖美
15	千葉 勝彦	大東	58	及川 幸江	山目
16	薄井 信次	弥栄	59	佐藤 廣市	巖美
17	千葉 裕	狐禅寺	60	菅原 邦久	東山
18	徳谷 喜久子	萩荘	61	菊地 清志	一関
19	千葉 温	一関	62	木村 喜美雄	真滝
20	岩渕 正義	川崎	63	小野寺 邦男	一関
21	小野 仁志	一関	64	原田 徹郎	萩荘
22	槻山 千エ	真滝	65	大越 留美子	山目
23	菅原 寿	山目	66	小野寺 秀	山目
24	徳谷 眞樹	萩荘	67	宮脇 鞆子	山目
25	鵜浦 公喜	花泉	68	佐藤 辰雄	真滝
26	千葉 幸一	市職員	69	佐藤 ちづ子	真滝
27	藤江 元	川崎	70	千葉 七蔵	平泉
28	伊藤 京子	真滝	71	佐藤 博	真滝
29	千葉 芳邦	平泉町	72	若山 愛	一関
30	佐々木 幸子	弥栄	73	金野 秀市	大東
31	高橋 功	滝沢市	74	千葉 清	花泉
32	鈴木 智道	巖美	75	石川 幹雄	萩荘
33	及川 良一	弥栄	76	沼倉 信夫	花泉
34	岩渕 悟	市職員	77	工藤 哲志	藤沢
35	岩渕 一宗	弥栄	78	千葉 進	千厩
36	高橋 健一	一関	79	千葉 正子	千厩
37	菅原 仁	真滝	80	及川 忠之	大東
38	岩城 且佳	真滝	81	及川 孝雄	藤沢
39	菅原 雪枝	弥栄	82	山川 純一	花泉
40	那須 茂一郎	大東	83	高橋 利己	花泉
41	佐々木 奈良美	一関	84	三浦 二三男	大東
42	佐藤 友季子	一関	85	渡部 裕司	萩荘
43	小松原 弘子	盛岡市	86		

一関地球温暖化対策地域協議会 企業・団体会員名簿

(平成28年5月1日現在)

No.	氏 名	地 域
1	一関商工会議所	一 関
2	NPO 法人北上川サポート協会	川 崎
3	一関工業高等専門学校	一 関
4	川嶋印刷(株)	平泉町
5	三光化成(株)東北事業部	一 関
6	トーバン印刷(株)	千 厩
7	クリーンセンター花泉(有)	花 泉
8	(株)岩手日日新聞社	一 関
9	(有)大東交通サービス	大 東
10	吸川をきれいにする会	一 関
11	(株)日ピス岩手	一 関
12	いちのせき市民活動促進会議 インアーチ	一 関
13	特定非営利活動法人 レスパイトハウス・ハンズ	一 関
14	(有)尾形建設	千 厩
15	(有)駒崎材木店	大 東
16	暖樂工房CHIJO	平泉町
17	(株)平野組	一 関
18	(株)金澤電気工業所	一 関
19	(有) 玉澤建設	藤 沢
20	千厩川にサケをよぶ会	千 厩
21	スマート環境デザイン(株)	花 泉
22	ニッコー・ファインメック(株)	千 厩
23	(株)一関LIXIL製作所	一 関